

日本大腸肛門病学会 指導医申請書

日本大腸肛門病学会専門医制度規則及び施行細則に規定する指導医の認定を申請します。

申請日： 年 月 日

会 員 番 号	ふ り が な	
DA	氏 名	⑩
基 本 診 療 科	☐ I 内科・放射線科・病理科・その他 ☐ IIa 外科 ☐ IIb 肛門科	
大 腸 肛 門 病 専 門 医 認 定 年 月 日	年 月 日	
生 年 月 日	年 月 日 生 () 歳	
E-mail ア ド レ ス		
勤 務 先 お よ び 所 属 科		
職 位		
勤 務 先 住 所	〒	
	TEL :	
職 歴 (在職期間も記載)	年 月	大学 卒業
	年 月 ~ 年 月	
	年 月 ~ 年 月	
	年 月 ~ 年 月	
	年 月 ~ 年 月	
	年 月 ~ 年 月	
	年 月 ~ 年 月	
	年 月 ~ 年 月	
	年 月 ~ 年 月	
空白年がある場合の理由		

大腸肛門病学疾患_診療経験症例数一覧表

氏 名 :	
-------	--

過去5年間の各診療科目別の年間診療経験症例数を記入 年の起算日は任意（例：1-12月、4-3月）

診 療 科 目	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年
大腸・肛門の機能的疾患 (過敏性腸症候群, 慢性下痢, 便秘, 機能的閉塞症, 排便困難 など)					
潰瘍性大腸炎					
クローン病					
感染性大腸炎					
腸結核					
虚血性大腸炎					
薬剤性大腸炎					
大腸憩室症					
大腸ポリープ					
家族性大腸腺腫症					
結腸癌					
直腸癌					
ヒルシュスプルング病					
直腸・肛門奇形					
痔核					
痔瘻または肛門周囲膿瘍					
裂肛					
直腸脱					
その他 :					
診療経験症例数合計					

空白年がある場合の理由	
-------------	--

業績目録

氏 名 :

1) 過去5年間に、本学会学術集会出席**2回**以上を含めて、大腸肛門病に関係ある**学術集会の出席6回**以上

* 研修実績評価リストに記載されている学術集会に限る

2) 過去5年間に、本学会**教育セミナー出席 1回**以上3) 過去5年間に筆頭者としての**大腸肛門病に関する研究論文 1編**以上

* 共著論文は3編で筆頭者論文1編、また筆頭演者としての学会発表は3回で筆頭者論文1編とみなす

1) 学術集会出席

* 研修実績評価リストに記載のある集会に限られる

1	年 月	第 回	
2	年 月	第 回	
3	年 月	第 回	
4	年 月	第 回	
5	年 月	第 回	
6	年 月	第 回	

2) 教育セミナー出席

1	年 月	第 回	
---	-----------------	-----	--

3) 論文・学会発表

* 研修実績評価リストに記載のある集会に限られる

	雑誌名／集会名 (ISSN, ISBN No.)	巻・号・頁・年／ 回数・発表年月	論文名／演題名	筆頭・共著
1				
2				
3				